

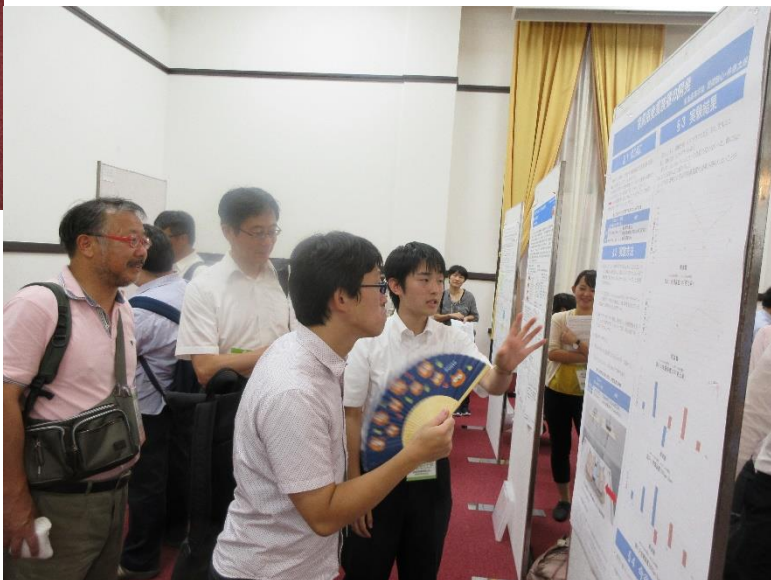
高校 1 年 2 組の野間鉄心君が、京都大学吉田キャンパスで開催された日本地震学会 2019 年秋季大会に参加をさせて頂きました。昨年の秋季大会で発表をした高校 2 年 3 組の林春太郎君に続き、今年 7 月に地震学会(学生会員)に入会し、今回は自身が筆頭著者になって、林君と連名で発表をしました。

発表テーマは「家具用免震装置の開発」、5 月に幕張メッセで開催された学会(JpGU の高校生セッション)で発表した際に頂いた助言を基に、研究を進めて、今回の発表に至りました。複数あるセッションの中から、「強震動セッション」(ポスター発表)に申し込みました。地震学会には高校生会員はまだ少なく、高校生セッションは存在しないため、一般セッションで発表をしました。



会場に到着をすると、早速、自身のポスター番号と指定された掲示ボードを見つけて、発表の準備をしました。開発した免震装置の完成品は、本校から京都大学の会場までそのまま持ち運ぶことが難しいため、分解して持参し、会場で 30 分余り時間をかけて組み立てました。

9 時 30 分～ 口頭発表セッションが 4 会場に分かれて実施され、プログラムを見て高校生でも比較的分かりやすそうなセッション(「地殻変動」等)を選び、大学や研究機関の研究者による講演を聞きました。



ポスターセッションが始まる 17 時過ぎになると、野間君のポスターの前にも、興味を持って下さった研究者の方々が大勢集まりました。解析の手法やデータの提示方法などに関して、熱心に助言をして下さり、1 つ 1 つ良い勉強になりました。

頂いたアドバイスも踏まえて継続し、11 月 2 日～4 日に埼玉会館で開催される埼玉私学文化祭(作品展研究発表部門)で成果を発表します。